

開講科目名 Course	情報法研究 / Information Law
時間割コード Course Code	10950
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 後期
曜限 Day, Period	他 2
開講区分 semester offered	後期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	萩原 聡央
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	萩原 聡央 (法学部)
授業の目標	この授業では、「情報の自由」と「情報の保護」の意味や内容について理解を深めるとともに、情報の自由と保護に関する法制度について理解することを目標とする。
授業の概要	この授業では、授業時に配布するレジュメ・資料に基づいて、「情報・通信と憲法の関わり」、「知的財産の法的な保護」、「情報通信の法的な保障」、「サイバースペースにおける表現規制」、「ネット上の名誉毀損・営業妨害」、「ネット上の著作物使用の規制」、「プロバイダの法的責任」、「サイバースペースでの商取引と法」、「電子データの真正性の証明」、「個人情報の保護と利活用」、「商業メールと法規制」、「ネットセキュリティの法制化」、「行政手続のオンライン化」、「民間の電子化に関する法制度」、「行政情報の公開と利活用」の各テーマについて考察します。この授業における学びを通して、情報に関する基本的な知識を身につけることができるとともに、情報法制の役割や意義について理解することができます。
評価方法	毎回実施する課題に基づいて総合的に評価します。 定期試験は実施しない(上記評価方法により評価する)。
教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準	
授業計画	第1回 ガイダンス・情報や通信は憲法とどのようにかかわっているだろうか 第2回 知的財産はどのような場合に法的に保護されるのだろうか 第3回 情報通信はどのような法的仕組みで保障されるのだろうか 第4回 サイバースペースにおける表現規制はどのようにされているのだろうか 第5回 ネット上の名誉毀損や営業妨害にはどのような特徴があるのだろうか 第6回 ネット上の著作物やドメイン名の使用はどのような規制があるのだろうか 第7回 プロバイダは法的にどのような義務を負っているのだろうか 第8回 サイバースペースでの商取引にはどんな法律が適用されているのだろうか 第9回 電子データの真正性・完全性はどのように証明されるのだろうか 第10回 個人情報の保護と利活用はどのように保障されているのだろうか 第11回 承諾なく送られた商業メールはどのような法規制があるのだろうか 第12回 ネットのセキュリティはどのように法制化されているのだろうか 第13回 行政手続のオンライン化はどのように法規制されているのだろうか 第14回 民間の電子化に関する法制度はどこまで進んでいるのだろうか 第15回 行政情報の公開と利活用はどのように保障されているのだろうか・まとめ
テキスト	米丸恒治編『18歳からはじめる情報法』(法律文化社)
参考書	宇賀克也・長谷部恭男編『情報法』(有斐閣) 祖我部真裕・林秀弥・栗田昌裕『情報法概説』(弘文堂) 松井修視編『レクチャー情報法』(法律文化社) その他、適宜指示します。

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	